

# 中越地震・東日本大震災の教訓からアレルギー児に食べ物を！

関係各位

有限会社エコ・ライス新潟

## 埋もれてしまう「食物アレルギー患者」支援

### 熊本市、南阿蘇村、益城町、御船町

SNSで支援情報発信しシェア 3544 件(4/20)でアレルギー支援先発見

連携：尾西食品(株)、(株)美松、(有)エコ・ライス新潟、NPO プロジェクト 88

#### 声をあげられない「アレルギーの親子」

地震発生後の被災地はパニック状態で、健康な人と外見では見分けがつかない食物アレルギー児や人工透析患者（内部障がい者）は、救済の手が差し伸べられません。避難所にいる被災者全員が苦しんでいる中で「アレルギー対応食をください。」とはとても言い出せない雰囲気、口を噤んでしまいます。

仮に言えたとしても、アレルギー対応食の備えは少なく、結果として「我慢」するしかありません。避難所で埋もれて耐えているか、避難をしない、又は、遠方に逃げ出すことしか方法がありません。

アレルギーには初動が大切で空振り覚悟で被災地へ行き、アレルギー児を見つけながら、「直接手渡す」ことが重要です。一刻も早く被災地に入り現状を把握して、埋もれている親子を掘り起こし広くアレルギー食の支援活動を周知することが重要です。

#### 見つからない食物アレルギー患者を見つける SNS の力

孤立しているアレルギー親子を見つけることは容易ではありません。東日本大震災支援では当初四方八方手を尽くしましたが支援情報が伝わりませんでした。しかし、熊本地震では携帯・スマホが使えるので、アレルギーママを中心とした SNS で発信してネットワークを活用すれば、「対人」ではないので、声をあげやすく情報が伝わりやすいと考えました。

4/16（土）の 14：00 に長岡を出発する時点では、支援先の当ては一か所もありませんでした。

ところが、私の FB に「アレルギー支援」をアップし、長岡にこつとくらの榎園さん達がシェアすると、みるみるうちにシェアが増え続け、最終的には 3500 以上のシェアがあり、支援情報が拡散しました。

22 時間かけて熊本に入るころには、SNS を通じて支援要請が入りはじめ、17 日には支援要請が集まりすぎて、残念ながらお断りする状態となりました。

#### 安倍昭恵さんのネットワークに助けられる

アレルギー支援要請は入りますが、熊本の地理に不案内で、加えて、震災の被害で道路が破壊され交通規制が敷かれているので、地元の方の道案内を含めたサポートが必要でした。FB で安部昭恵さんのネットワークから熊本支援チーム（旧名称：東日本大震災・熊本支援チ



スマホのシェアが 3500 件以上

ーム) の三城賢士さんを紹介してもらい、病院や避難所、南阿蘇村への道案内をしてもらい迷うことなく辿り着けました。人のネットワークと SNS の情報収集の威力を知りました。

### 病院、避難所、支援団体 9ヶ所へ食物アレルギー対応クッキーを届ける

長岡から熊本へ高速を走行中は強風と雨。途中でトラックの幌が壊れるアクシデントを除けば九州自動車道の植木 IC 手前までは順調。しかし、植木 IC を目前にして大渋滞。10 時に熊本医療センターへの支援物資を届ける予定が 3 時間オーバー。被災地の到着時間は読めません。この後は、三城さんに案内してもらい 2ヶ所を回る。

日没後、暗闇の道を 3 台のトラックで南阿蘇村の避難所を目指しました。市街地は倒壊



した家屋だらけ。険しい山道に入ると落石にひび割れた道。すれ違うのは警察・自衛隊・消防の車列ばかり。南阿蘇村の被害は甚大でした。

どこの避難所でも、「子供が小麦のアレルギー」「乳と卵のアレルギー」という母親がいます。通常食の支援物資さえ届いていない現状では、アレルギーが食べられるものは殆どないと言っても過言ではありません。

巨大な岩石が行く手を塞ぐ。とても怖い

今回の支援の最後は、上益城郡御船町の医院。ミャンマーで日本人兵士の遺骨収集をしている大学の友人から、FB を通じて、「御船町の医院でアレルギー食がなくて困っている」との情報が寄せられました。

医院も被災していて、医院長をはじめスタッフは不眠不休で、患者は溢れ床布団を敷いている状態。

食物アレルギークッキー、粉ミルクを説明したら大喜び。本当に食料がなく支援物資も届かず困っていました。

即食性のライスクッキー (アレルギー 27 品目不使用) 6200 食、アルファ米 600 食、粉ミルクと少量でした。連携団体の尾西食品(株)は、同じクッキーを、熊本県に 9600 食、益城町に 9600 食を支援したので、SNS の情報でアレルギー親子に役立てばと願います。



医院長も女医も対応食がなく困っていたので説明を真剣に聞く



前夜 23 時までかかっておろした支援物資を、朝 6 時から配布。「大人用紙おむつがほしい」と 2 名の方から要望あり。高齢社会です。



南阿蘇村の避難所になった「道の駅」内にあるモンベルショップ。福岡、鹿児島からの応援に駆け付けた。アウトドアは嬉しい!



長岡⇄熊本、往復 2777 km。21 年選手の 2 トントラックは、中越地震、東日本大震災、熊本地震と 3 回の震災を共にした戦友です。

【問合せ：(有)エコ・ライス新潟 : 豊永 有】

〒954 - 0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970 - 100

TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447

e - mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp) HP <http://www.eco-rice.jp/>

